

1—S₁—2

ロコモコーディネーターの養成 現在までの実績

医療法人二階堂医院

○^{にかいどう}二階堂 ^{もとしげ}元重

【目的】2017年度末までに、要支援対象者に対する介護サービスが市町村事業に完全移行することが決定したことを受け、各自治体ではロコモ予防体操「ロコトレ」の住民への普及啓発を目的に、地域の民生委員や老人会役員などボランティアを対象に、現場で直接予防体操等を指導する「指導員・普及員」の養成を独自に進めていこうとする動きが始まっている。我々SLOC全国ストップ・ザ・ロコモ協議会は、今後煩雑を極めると推測される介護予防事業の流れを円滑に進める目的に、ロコトレ活動のコーディネートを行う有資格者「ロコモコーディネーター」の養成に着手した。

【方法】「ロコモコーディネーター」は、自治体と在宅あるいはサロンなどの間に入り、ボランティアへの「ロコトレ」指導・教育ならびに派遣・調整（コーディネート）を役割とし、その資格対象者は原則として地域包括支援センターや医療機関ならびに介護施設に所属する医療、介護系の有資格者に限定している。資格取得研修会を開催。1単位50分、計6単位の研修講演受講終了後、5択20問、30分間の修了試験を実施し、60点以上を合格とした。

【結果】第1回資格取得研修会を2014年6月29日浜松市、第2回を12月7日宮崎市（宮崎大整形外科 帖佐悦男教授）において開催、浜松市182名、宮崎市87名、計269名の「ロコモコーディネーター」が誕生し、すでに何名かは講師となって在宅もしくはサロンに対し養成講座などを開始。内容は主に保健師やPT資格を持った「ロコモコーディネーター」による「ロコトレ実技指導」である。2015年は7月26日三島市、11月29日さいたま市での開催を予定している。今後はロコモコーディネーターが資格取得後どのような活動を実施しているのか実態調査をおこない、修正点、活動方向等を精査した上で、さらに全国での講習会を開催していく予定である。